



1970年(昭和45年) 恵庭市誕生

▲東庭市誕生を祝う市民ら（東庭市提供）

現在、工業団地
が8カ所あり、約
270社が操業し
ている。

また、漁川の上
流にある漁川ダム
は豊富な水量を誇
り、市内では支笏
湖の伏流水が湧き
出るなど、良質な
水資源にも恵まれ
ており、食品加工
などの企業進出の

実学重視で「豊かな人間性」・「健全な社会性」
・「高度な専門性」

北海道文教大学

大学院

グローバルコミュニケーション研究科／
健康栄養科学研究科／リハビリテーション科学研究科／こども発達学研究科

外国語学部

国際言語学科

人間科学部

健康栄養学科／理学療法学科／
作業療法学科／看護学科／こども発達学科

人口はこの50年で
2倍の7万人超えに

人口はこの50年で
2倍の7万人超えに



原田 裕市長

はらだ ゆたか) 1952年10月22日生まれ。76年北海道大学法学部卒。恵庭市役所勤務、(有)ハラダ代表取締役などを経て、95年北海道議会議員選挙で当選、以後4期務める。09年11月から現職。

全国的に地方都市の人口減少が進む中、恵庭市は人口の増加がみられ、2011年に7万人を達成した。人口増加の理由は、札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置するため都市機能が充実していること、豊かな自然にも恵まれ、都会でも田舎でもない「ほどよい生活感のまち」であることがある。それに加え「安心して子育てができるまち」「高齢者が『健幸』に暮らせる

「まち」といって
た誰もが住み
やすいまちづ
くりを市民や
議会と協働して進めてきた
成果によるものだ。

記念事業や交流で
更なる発展を目指す

②様々な記念事業を通して、市民等が連携し交流を深める（交流）

▲市制施行50周年記念ロゴマーク

③次世代を担う子どもたちの夢や希望を育み、これらも住み続けたい恵庭のまちづくりを考える（まちづくり）

④魅力ある恵庭を市内外に向けて情報発信する（情報発信）の4つ。

また、市民をはじめ多くの関係者が参加する「50周年記念事業」では、記念ロゴマークと記念キヤツチフレーズを公募により決めた。ロゴマークは、現在の恵庭を象徴する「花のまち」をイメージして、数字を「花・水・緑」のモチーフで囲み、中心には笑顔の横顔を配置したデザイン。キヤツチフレーズは、小学生の女の子が応募した『未来へつなぐ 花のまち 恵庭50年』だ。

今回決定した記念ロゴマークとキヤツチフレーズは横断幕やのぼり旗、バナーなどに使用するほか、市広報誌や市ホームページ、各種印刷物への掲載などに広く活用していく予定だ。

惠庭市

市制施行50周年

農商工連携で産業振興

全国的に地方都市の人口減少が進む中、惠庭市は人口の増加がみられ、2011年

まち」といつた誰もが住みやすいまちづ

